

5月定例教育委員会 会議録

1、開催日時 平成28年5月25日（水）午前10時30分から午前11時15分

2、開催場所 市役所3階第一委員会室

3、出席委員の氏名

教育長 梶原 清

職務代理者 小林 重雄

委員 関口 稔夫、小林 孝次、川村 直廣、赤澤 敬子

委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐、

4、教育長開会宣言

5、会期の決定

6、今回会議録署名委員

関口稔夫委員、赤澤敬子委員が指名される。

7、前回の会議録の承認

職員が4月定例会会議録を朗読し承認される。

なお、会議録の朗読の後、4月定例会において質問のあった2件について、次のとおり報告がなされた。

学校教育課長より

川村委員より質問のあった都留興譲館高校において、中学生の受け入れが可能かどうかについて、高校側に再度確認したところ、相撲競技については問題なく受け入れが可能であるとのことであった。

教育次長より

小林重雄委員から質問があった、学童保育や放課後子ども教室における、災害時に備えた、指導員から保護者への引き渡し訓練等については、確認したところ、どちらの活動も行っていないかった。

小学校では、引き渡し訓練等を行っているが、すべての保護者が参加できていない状況であり、特に学童保育については、仕事で忙しい保護者が子どもを預けていることから保護者の参加を求めている訓練は、非常に難しい状況である。

但し、学童保育及び放課後子ども教室は、原則として児童は必ず指導員から保護者へ引き渡すこととしており、そのことを徹底し、災害時にも平常時と同様の引き渡しを心掛けるよう再度、指導を行った。

8、教育長報告

平成28年4月21日から平成28年5月24日までの教育長活動が報告された。

学校教育課長より、指定校変更2件、区域外就学3件（市外から市内が2件、市内から市外が1件）について資料に基づき説明を行い、申請事由が適正であることから承認・承諾を行うとともに、他市教育委員会との区域外就学の協議を行った事務処理について報告がなされた。

9、議 事

議第4号 平成28年度 6月議会補正予算について

[説明] 学校教育課長

今回の補正予算は、県の委託事業である「実践的防災教育推進事業」に取り組むことに伴う、補正予算である。

この事業は、東日本大震災等を踏まえ、教職員や児童生徒の防災に対する意識の向上を図るため、緊急地震速報受信システム（Jアラート）を導入した実践的な避難訓練の実施や学校防災アドバイザーを活用した研修会を実施するなど、学校における、安全管理体制の構築・

強化を目的としている。

今回、この事業の対象校は、谷村第二小学校と都留第一中学校であり、予算的には、講師謝礼や備品購入費など、79万9千円、約80万円の事業である。また、この事業費については、全額（10分の10）が、県からの委託金である。

もう1件は、今年度予定している、谷村第二小学校屋根・外壁等改修工事（非構造部材の耐震化工事）についてであるが、歳入の一部として見込んでいた国の補助金が採択されなかったため、一般会計等を増額する財源更生を行うものである旨の説明あり。

梶原教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

【原案のとおり決定】

10、その他

[説明] 教育次長

(1) 生涯学習課関係イベント等について

[説明] 学校教育課長

(1) 学校訪問について

(2) 平成28年度 学級及び児童生徒数調べについて

(3) 平成28年度 山梨県教育功労者表彰の推薦について

(4) 平成29年度 県教育施策及び予算に関する要望書の提出について

(5) 研修会等について

(6) その他

小林重雄委員

宝小学校から、2週間くらい前に中津森で不審者の情報が入ったが、何か変わった様子はあったかの質問あり。

学校教育課長

5月9日（月）、宝小学校教頭からの通報だが、内容は、下校時の小学校3年生の女子に対して、男が後追いをしていたとのことであった。場所は、中津森の春日神社付近で、男の特徴は、40歳代、彫りの深い顔、赤のニット帽、蛍光のベストを着て自転車に乗っていたようである。

この不審者情報があったことから、宝小学校では、不審者への対応について（お知らせとお願い）という文書を作成し、校長名（5月12日付）で保護者宛てに通知したとの説明あり。

【 了 知 】

10、教育長閉会宣言